

別添3

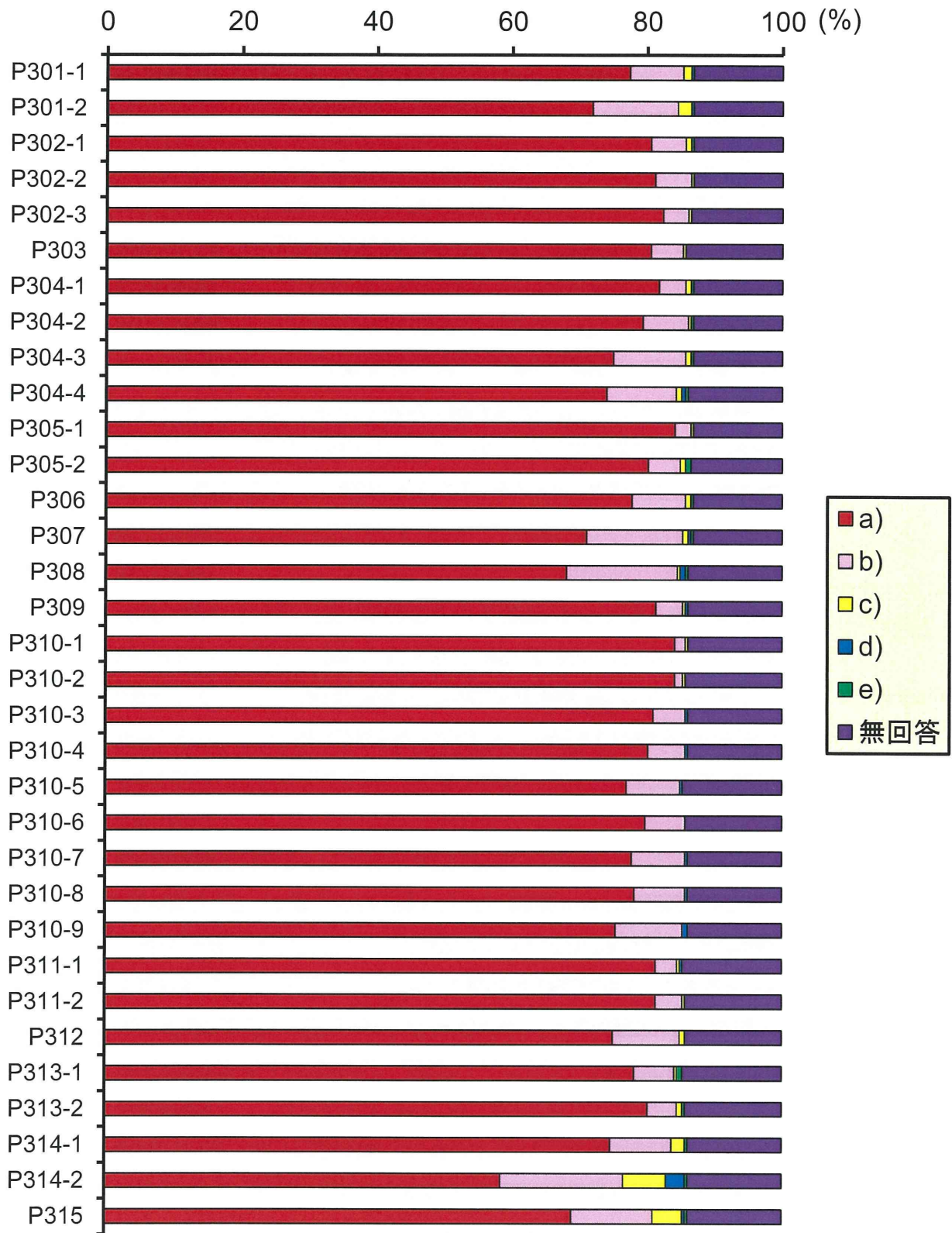


図42. (続き)

別添3

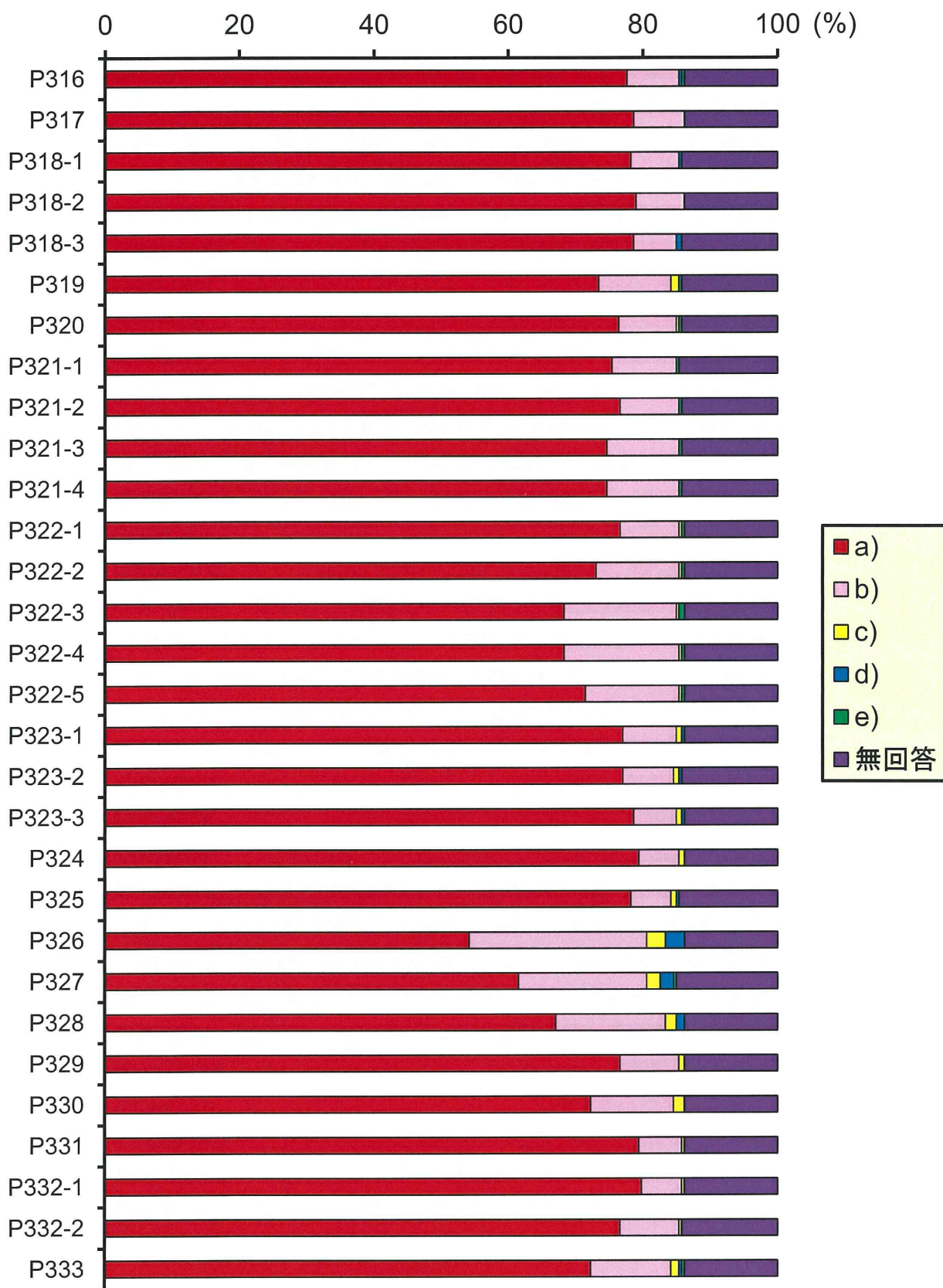


図42. (続き)

別添3

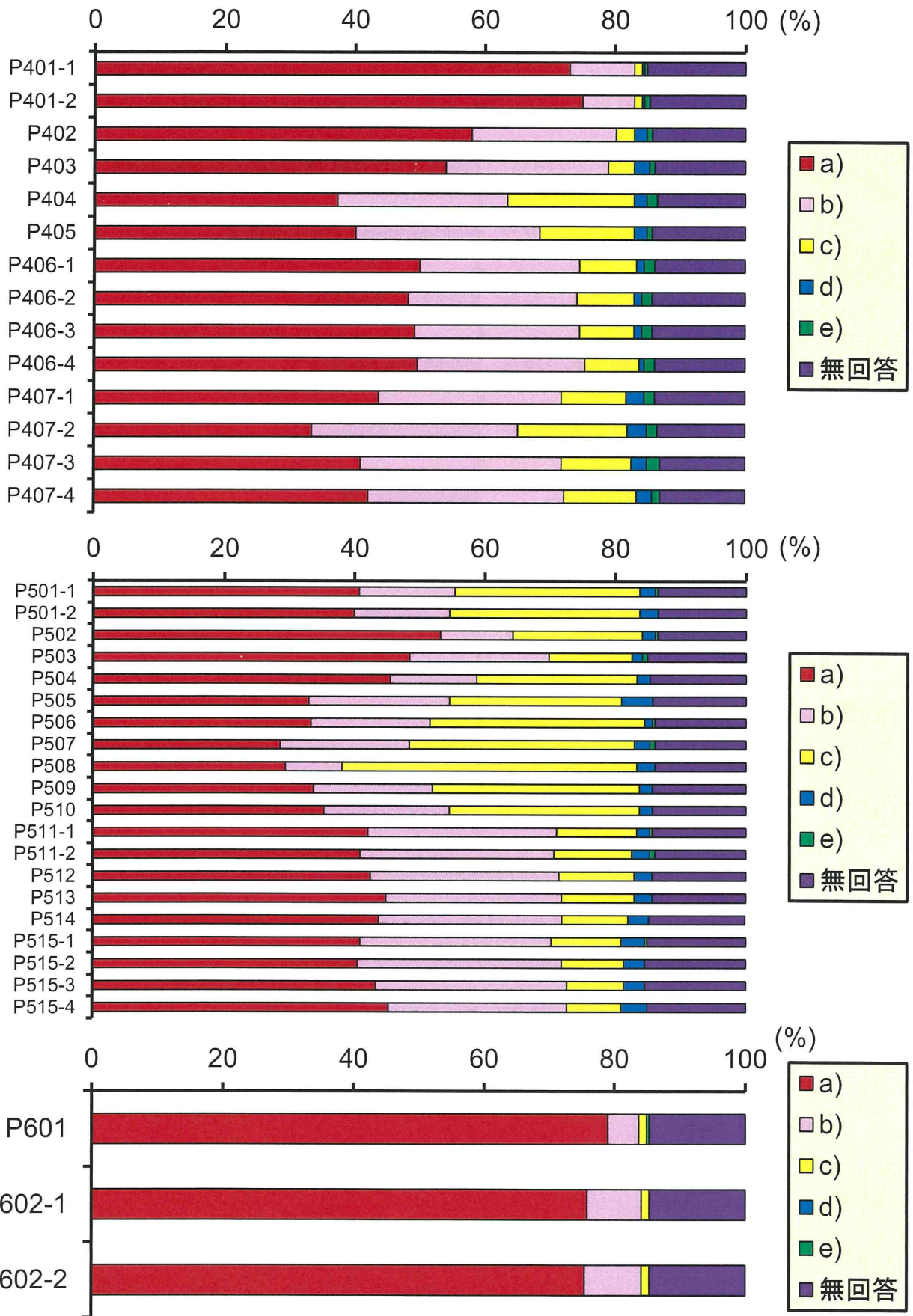


図42. (続き)

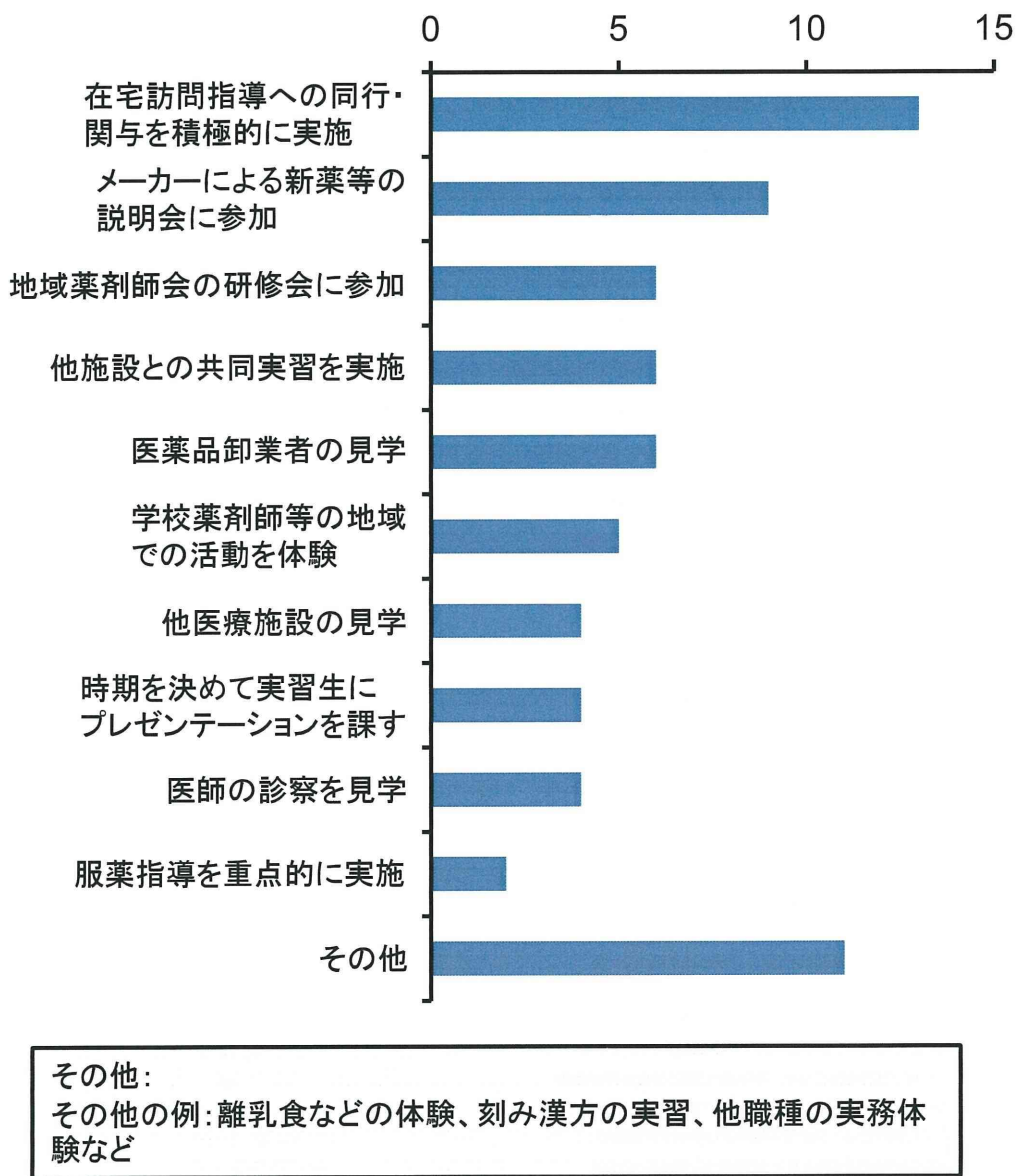
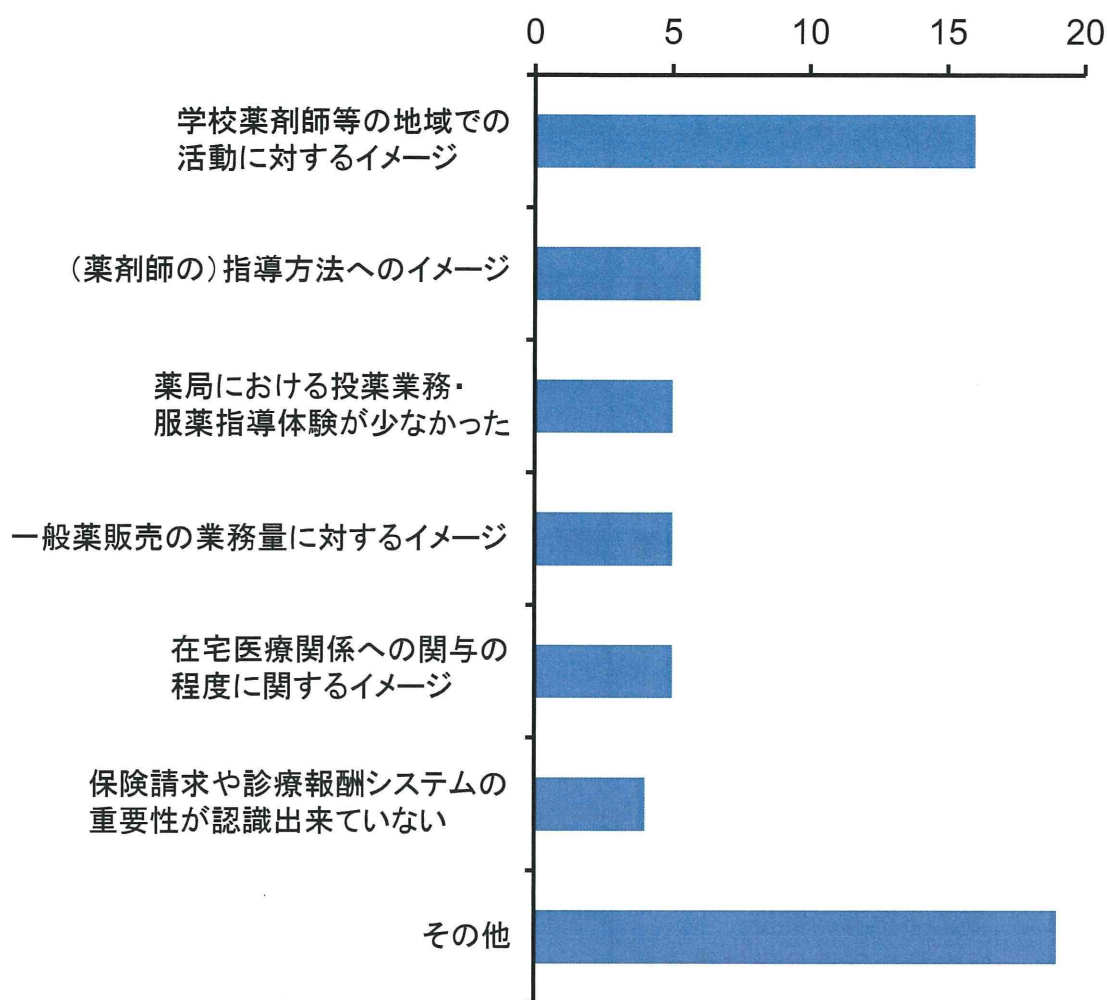


図43. 各薬局において、独自に実習している内容の集計結果。



※上記に列挙した業務や実習では、予想以上に多い、あるいは少ないの両意見があった。
 その他：
 OSCEやCBTの内容と実務の乖離に驚いていた、思った以上に薬局で患者と薬剤師の距離が小さい、など。

図44. 各薬局における実習内容と実習生のイメージに乖離があった事例の集計結果。

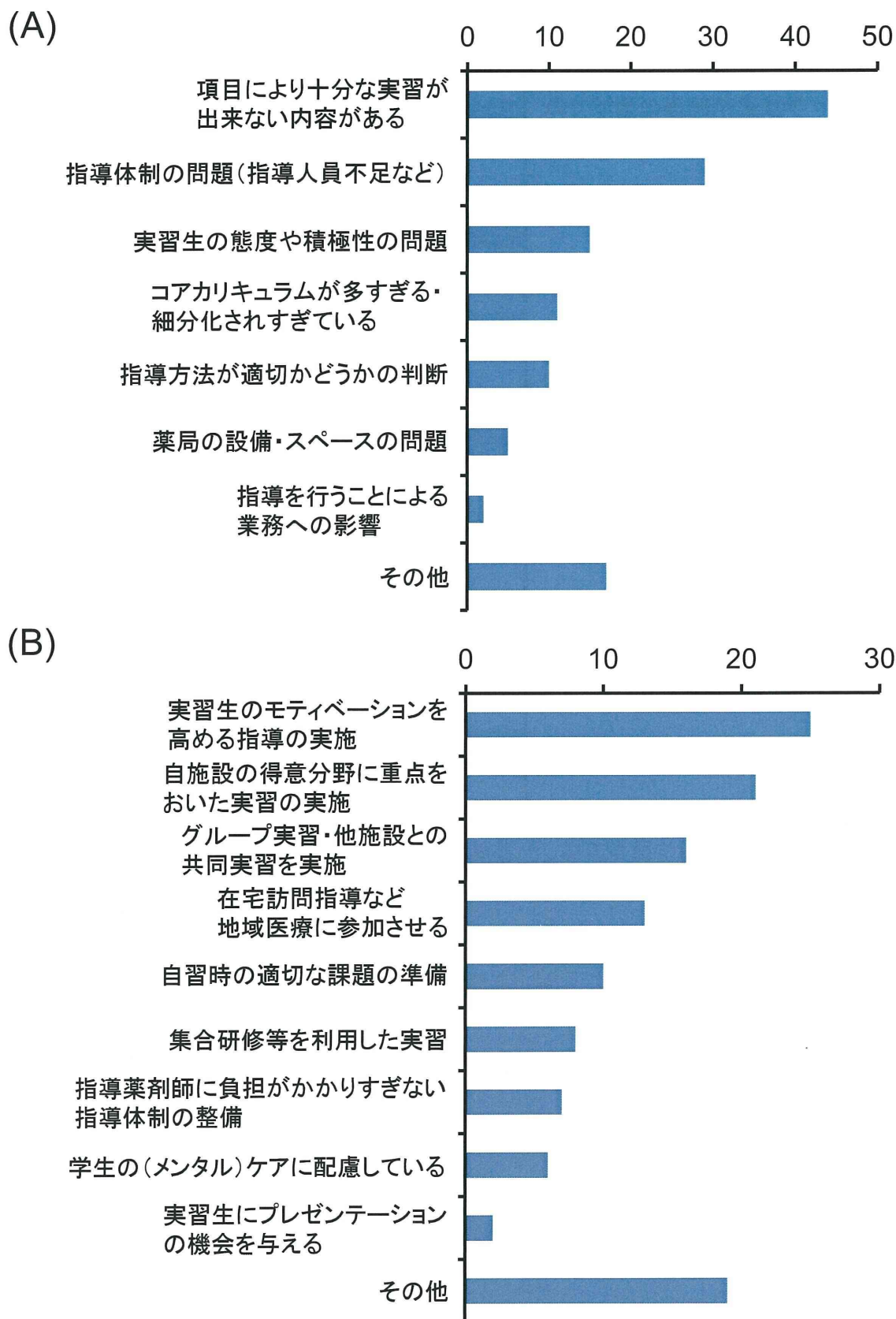


図45. (A) 各薬局における実務実習の問題点や課題。(B) 各薬局における実務実習で特に工夫している点。

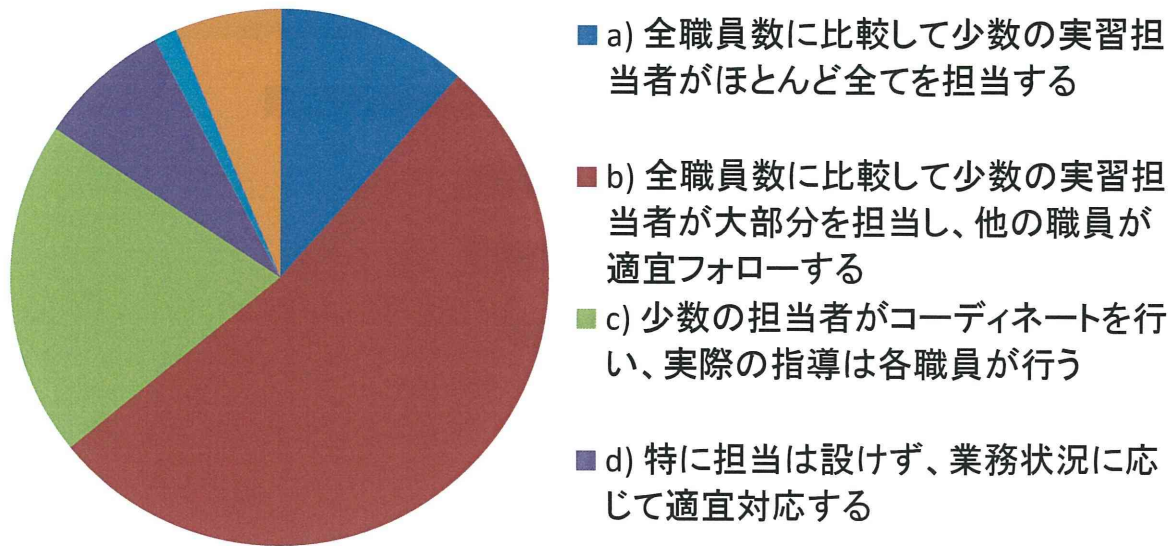
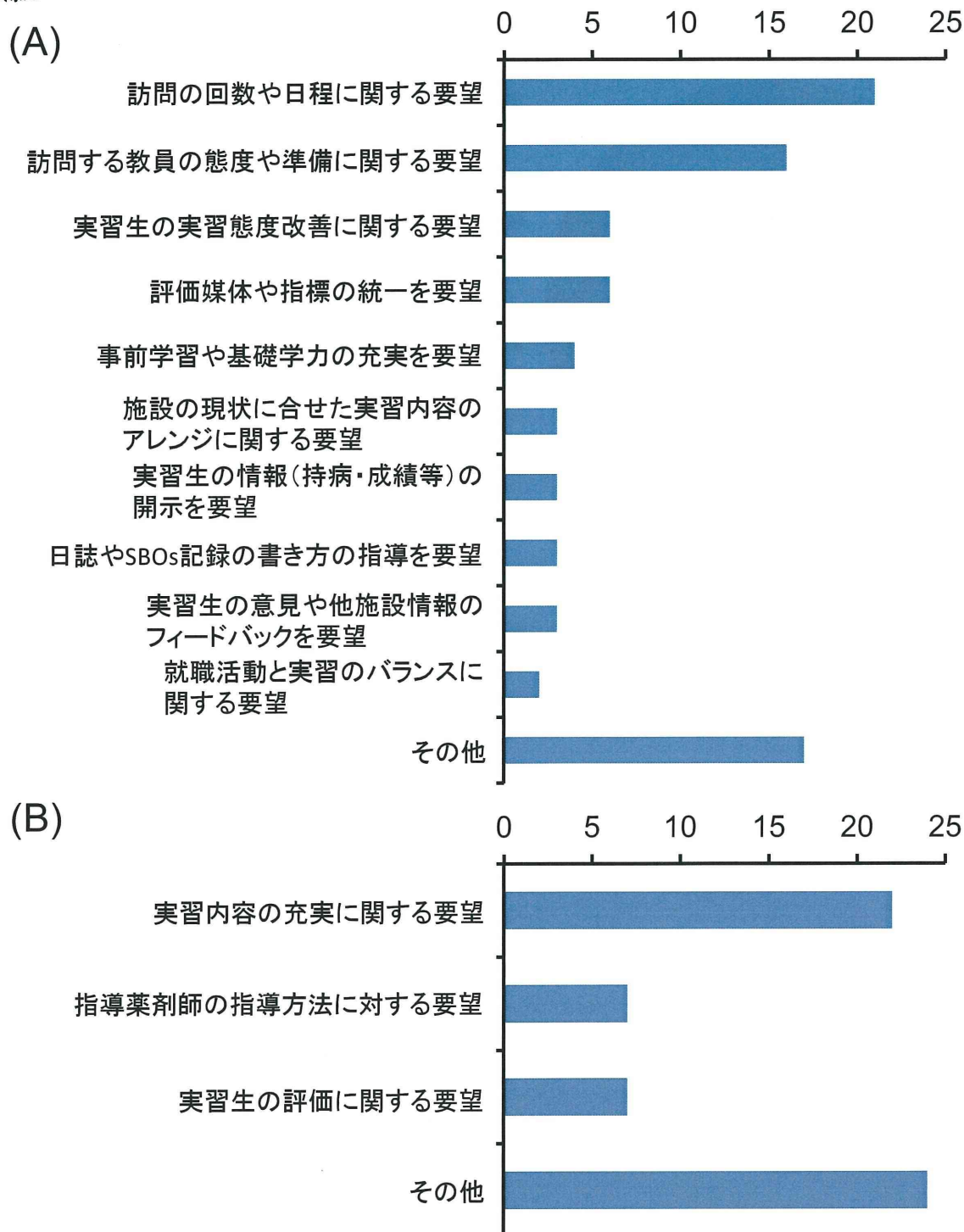
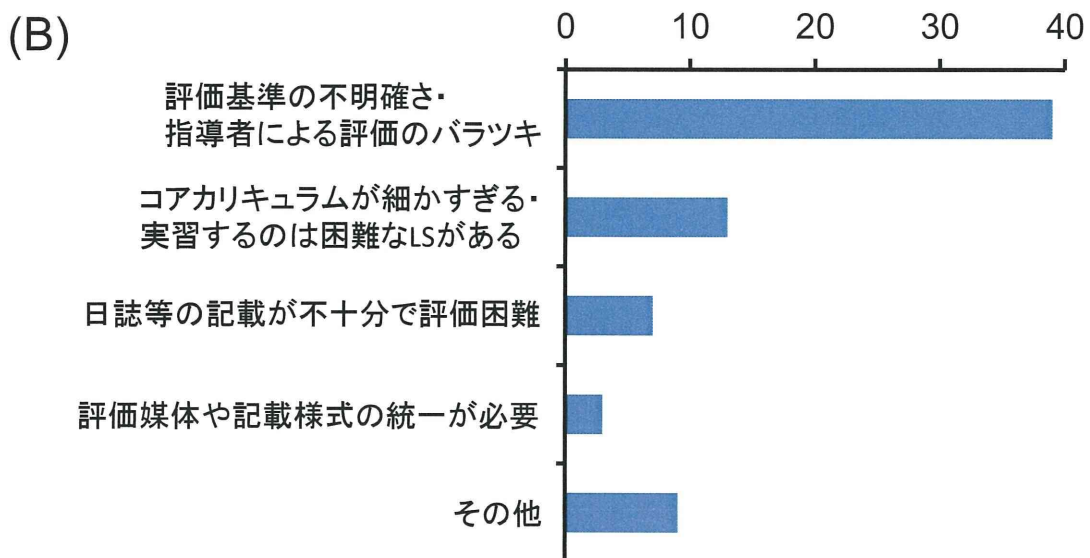
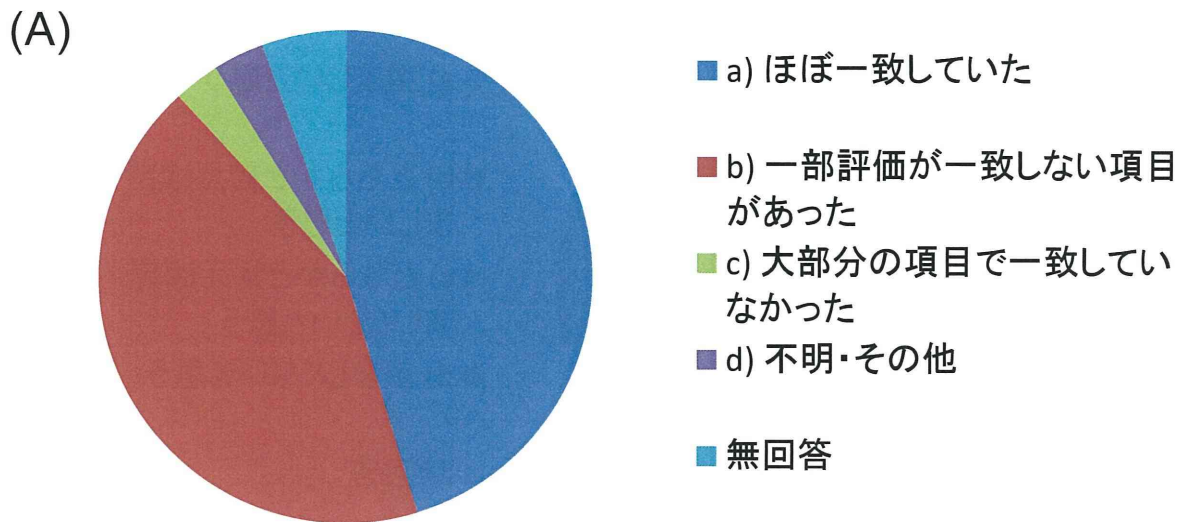


図46. 各薬局における実習生への対応に関する集計結果。



実習内容の要望のほとんどは服薬指導(在宅含む)、OTC対応の増加を要望
 指導方法に対する要望は、学生の個性に応じた指導、厳しすぎない(あくまで学生に対するレベル)指導の要望が多い。
 その他:
 学生に研究課題を与えて指導して欲しい、実習生の投薬を見学したい、次の実習施設への申し送り(実習生に関する)の作成依頼、など。

図47. 教員訪問時に(A) 大学に対して要望した項目、および(B) 大学から要望された項目の集計結果



その他：
LSの具体的な内容が分りにくく、学生も指導者も評点しにくい。学生との評価の違いによりすれ違いが生じる可能性あり、など。

図48. 各薬局における評価に関する調査結果。(A) 実習生と指導薬剤師間でのSBOs進捗評価の整合性に関する集計結果。(B) 各薬局において評価上困った事項の集計結果。

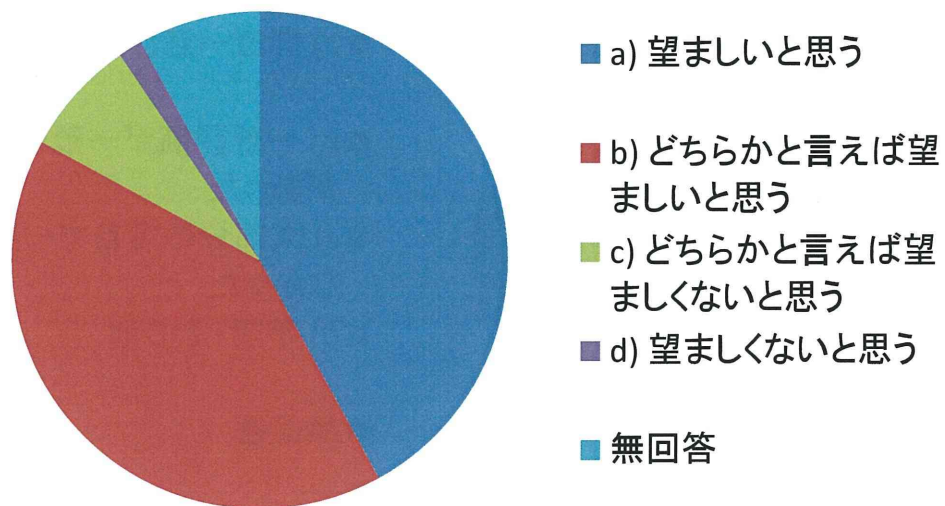


図49. 各薬局の大学との人材交流に対する意識調査の集計結果

添付資料

添付資料1
大学向けアンケート調査票

「薬剤師教育における実務実習指導薬剤師及び実務家教員に関する実態把握」

アンケート調査票（大学用）

回答者*)：大学名 _____ 役職 _____
 氏名 _____ 連絡先 _____

*)：本研究の成果発表時には一切公表いたしません、空欄でも結構です。

設問 1	貴学の薬学部学生数（6年制および4年制）の人数をご回答下さい。 ※1 学年での人数をご回答下さい。学年により大幅に人数、比率が異なるようであれば平成 19 年度入の学生の入学時点でのデータをご回答下さい。	6年制課程 名 4年制課程 名
設問 2	貴学の全専任教員数および実務家教員数をご回答下さい。また、可能であれば、実務家教員のバックグラウンド別の人数も、以下の分類に従ってご回答下さい。 a) 主に病院経験者 b) 主に薬局経験者 c) 病院・薬局を同程度経験者 d) その他（海外での薬剤師経験など） ※実務家教員は学校教育法の基準に照らし、概ね5年以上の実務経験を有する教員とご解釈下さい。	全教員： 名 実務家教員： 名 a) 名 b) 名 c) 名 d) 名
設問 3	貴学の実習生の実習先となった病院・薬局の施設数をそれぞれご回答下さい。 ※平成 23 年度 I～III期の合計数（実質数）をご回答下さい。例えば、A 薬局で I、III 期に実習を行った場合、施設数は 1 施設として下さい。	病院 施設 薬局 施設
設問 4	4-A) 貴学において平成 21 年度以前（6年制課程の実務実習実施以前）に、薬学部学生・大学院生を対象として旧 4 年制課程における 1 ヶ月実習以外に病院・薬局での実習を実施した経験はありますか。 <input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 無い <input type="checkbox"/> 不明 ※実習とは、連続 1 週間以上の病院・薬局における実習とご解釈下さい。また、研究室配属の学生は対象外として下さい。 4-B) 設問 4-A)で「ある」と回答された場合は実習期間と実施人数をご記載ください。 例：2 週間実習を年間 20 名程度	
設問 5	差し障り無ければ、貴学における実習生一人当たりの実習費を、病院平均と薬局平均に分けてご回答下さい。	病院平均 万円 薬局平均 万円

設問 6 :

今後、薬剤師はチーム医療の中でどのような役割を担うべきか、アンケート回答者のお考えをご回答下さい(設問 6-A)。また、そのような役割を果たすために必要となる能力・知識についてもご回答下さい(設問 6-B)。

なお、回答の負担を軽減する目的で、昨年度までの調査で比較的多く見受けられた回答内容を選択肢に設定させて頂きましたが、その他にも必要と考える項目があれば自由記載欄にご記載ください。

(本設問は、実務実習を含めた薬剤師教育のあり方を考える上で、目標となる薬剤師の理想像に関して考察することを目的としております。)

6-A) 薬剤師が関与すべき役割・業務内容に関する設問となります。下記選択肢 a)~e)より回答者のご意見に最も近いものを選択してください。

- a) 主たる実施者として関与すべきであり、現在も大きく関与している
- b) 主たる実施者として関与すべきであるが、現在はあまり関与していない
- c) 現在、主たる実施者として大きく関与しているが、関与の必要性について検討すべきである
- d) 現在、主たる実施者としてあまり関与しておらず、積極的に関与すべき役割では無いと考える
- e) その他 (具体的なご意見を回答欄に御記載ください)

関与すべき役割・業務内容 (病院)	a)	b)	c)	d)	e)	e) の具体的内容
1. 計数・計量調剤	/	/	/	/	/	
1-a) 処方監査・疑義照会						
1-b) 薬剤の取り揃え、秤量・分包など						
1-c) 調剤薬鑑査 (最終鑑査)						
1-d) 外来患者への服薬指導						
2. 注射薬調剤・IVH (TPN) 調製	/	/	/	/	/	
2-a) 処方監査						
2-b) 薬剤の取り揃え						
2-c) 調剤薬鑑査 (最終鑑査)						
2-d) 中心静脈栄養の混合・調製						
3. 安全対策 (リスクマネジメント)						
4. 医薬品管理・供給 (払出し、発注、検収含む)						
5. 医薬品情報の収集・評価・加工・提供・管理						
6. 病棟における業務	/	/	/	/	/	
6-a) 薬剤管理指導						
6-b) 各種チーム (感染対策、栄養管理、緩和など) への参画						
6-c) 処方設計への関与						
6-d) 入院患者の持参薬管理						
7. 院内製剤 (一般製剤、無菌製剤)						
8. TDM (中毒薬物スクリーニング含む)						
9. 医療従事者を対象とする薬剤に関する院内セミナー等の企画						
10. 患者に対する集団教育 (糖尿病教室など) の実施						
11. 採用医薬品決定への関与						
12. 後発医薬品の使用促進への関与						
13. がん化学療法への関与 (レジメン選定など)						
14. 麻薬管理						
15. 治験・臨床研究への関与						

〈次ページへ続く〉

関与すべき役割・業務内容（薬局）	a)	b)	c)	d)	e)	e) の具体的内容
1. 処方箋による調剤	/	/	/	/	/	
1-a) 処方監査・疑義照会						
1-b) 薬剤の取り揃え、秤量・分包など						
1-c) 調剤薬鑑査（最終鑑査）						
1-d) 患者への服薬指導						
1-e) 薬歴の記録						
1-f) 診療報酬請求						
2. セルフメディケーションへの関与	/	/	/	/	/	
2-a) 一般用医薬品第1類の販売・情報提供・相談応需						
2-b) 一般用医薬品第2類、第3類、医薬部外品の販売						
2-c) 医療機器の供給・販売						
2-d) 健康食品・サプリメントの販売						
2-e) 健康相談（医師への受診勧奨含む）						
3. 在宅医療への関与						
4. 地域での医療連携への関与						
5. 地域医療・福祉向上への関与	/	/	/	/	/	
5-a) 学校薬剤師としての業務						
5-b) 集団を対象とした薬に関するセミナーの開催						
5-c) 薬物乱用防止への貢献						
6. 災害時の医薬品供給						

6-A) 自由記載欄

6-B) 設問 6-A)でご回答頂いた役割を担うために必要となる能力・知識に関する設問となります。次ページの回答欄に下記選択肢 a)～e)より回答者のご意見に最も近いものを選択してください。

- a) 今後も必要な能力・知識であり、現時点で多くの薬剤師が十分な能力・知識を有している
- b) 今後、必要な能力・知識であるが、現時点では十分な能力・知識を有する薬剤師は少ない
- c) 多くの薬剤師が十分な能力・知識を有しているが、今後の薬剤師にとっての必要性は低いと思われる
- d) 十分な能力・知識を有する薬剤師は少ないが、今後の薬剤師にとっての必要性も低いと思われる
- e) その他（具体的なご意見を回答欄に御記載ください）

必要となる能力・知識	a)	b)	c)	d)	e)	e) の具体的内容
1. 薬剤に関する知識	/	/	/	/	/	/
1-a) 作用機序						
1-b) 適応疾患・用法・用量・禁忌						
1-c) 副作用情報						
1-d) 相互作用・配合変化						
1-e) 同種同効薬、後発品						
1-f) 一般薬、健康食品、サプリメント						
2. 疾患の診断や治療に関する知識	/	/	/	/	/	/
2-a) 疾患のメカニズム						
2-b) 標準的な診断・治療（ガイドライン）						
3. 基礎科学（有機化学、分析化学、物理化学、生化学など）						
4. 基礎医学（生理学、解剖学、病理学など）						
5. 薬理学、薬物動態学、薬剤学						
6. 臨床統計学・疫学						
7. 薬事関連法規、医療法など関連法規						
8. 診療報酬など保健医療に関する知識						
9. 情報収集能力・論文読解能力（英語力も含む）						
10. 研究立案・遂行能力						
11. コミュニケーション能力・人間性						
12. 医療従事者としての心構え・倫理観・責任感						
13. 他の医療従事者の業務内容に関する理解						

6-B) 自由記載欄

設問 7～18 は、現時点における実務実習事前学習および長期実務実習に対する実務家教員の関与について実態を把握することを目的としております。平成 23 年度を調査対象としてご回答ください。

設問 7	<p>貴学における実務家教員の主な業務内容とそれに要する時間についてお伺いいたします。下記の業務について実務家教員が要した時間を全業務時間に対するおおよその割合でご回答下さい。</p> <p>なお、下記業務については総説等で一般によく述べられている業務内容を選択しておりますが、挙げられていない業務がございましたら、その他に計上していただき、自由記載欄に具体的な内容を御記載ください。また、実施していない業務の場合は割合を 0% とし、教員により大きく割合が異なる場合は平均的な値を回答頂きますようお願いいたします。</p> <p>1) 実務実習先の選定・割り付け _____ % 2) 学内での講義・臨床実習の担当 _____ % 3) 事前学習の準備・セッティング _____ % 4) 事前学習での指導 _____ % 5) 実務実習先への訪問 _____ % 6) CBT や OSCE の準備 _____ % 7) 教室配属の学生の（研究）指導 _____ % 8) その他 _____ %</p> <p>※2)の講義・臨床実習については <i>early exposure</i> 等、実務実習事前学習以外の部分、とご解釈ください。</p> <p>【以下自由記載欄】</p>
設問 8	<p>8-A) 設問 7 に関連して、このような教育・業務を遂行する上で実務家教員は十分な人員数でしょうか。下記選択肢 a)～c) から最も近いものを選択して下さい。</p> <p><input type="checkbox"/> a) 現状の人員で十分である。 <input type="checkbox"/> b) 不十分であり、実務家教員の増員や非実務家教員の補助が必要である。 <input type="checkbox"/> c) その他（具体的にご記載ください）</p> <p>8-B) 必要とされる非実務家教員の補助や実務家教員の増員数に関して具体的なご意見があれば、ご回答下さい。</p>
設問 9	<p>9-A) 事前学習に関して、貴学における非実務家教員の関与の程度について、下記選択肢 a)～d) より近いものを選択して下さい。</p> <p><input type="checkbox"/> a) ほとんど全て実務家教員のみで対応している <input type="checkbox"/> b) 一部 LS について非実務家教員が担当している <input type="checkbox"/> c) 実務家教員と非実務家教員がほぼ均等に担当している。 <input type="checkbox"/> d) その他</p>

設問 11-B)続き

【②：6年次前期】

【③：6年次後期】

11-C) 設問 11-B)に関連して、貴学における6年制課程の卒業論文発表の審査についてその時期やスタイルについて、下記の例を参考にご回答下さい。

例1：6年次の12月、公開された発表会での発表および卒業論文提出

例2：6年次の3月、研究室単位で発表と論文の審査を行う

設問 12

実務実習においては、大学の教官が定期的に3回程度、実習施設を訪問し、意見交換を行うことが通常となっておりますが、貴学での教員訪問に関して次の設問にご回答下さい。

12-A) 訪問に参加する教員に関して下記選択肢 a)～d)の中から最も近いものを選択して下さい。

- a) 実務実習の担当教員のみ
- b) 実習生の配属研究室の教員のみ
- c) 実務実習の担当教員と配属研究室の教員の両方
- d) その他（具体的に回答）

12-B) 実習期間中にどの程度の時間を教員訪問に当てられているでしょうか？一期当たりの実務家教員一人当たりの平均的な時間をご回答下さい。（概ね4時間を半日として概算で結構です。また、教員により著しい差がある場合は平均的な値を回答して下さい。）

12-C) 実習施設への教官訪問の際に、実習施設から要望されたことがあれば、差し障りの無い範囲で5例程度を上限に具体的にご回答ください。また可能であれば、その要望に対して実施した対応およびその結果などをご回答ください。

	<p>12-D) 設問 12-C)に関連して、貴学から実習施設に対して要望したい、あるいは要望されたことがあれば、差し障りの無い範囲で 5 例程度を上限に具体的にご回答ください。また、実際に要望した項目については、実習施設からの対応状況についても可能な範囲でご回答ください。</p>
<p>設問 13</p>	<p>実務実習中、あるいは実務実習を終えた学生から、実務実習の学習内容に直接関わりの無い事項で相談を受けた事があれば、具体的にご回答下さい。また可能であればそれらの相談事項に対する対応についてもご回答下さい。</p> <p>例：(相談事項) 配属研究室での研究との両立が体力的に厳しいとの相談を受けた (対応) 研究室教員と相談し、研究と実習のバランスが取れるように調整した、(相談事項) 実習先の指導薬剤師との関係がうまく作れない (対応) 教員訪問時に両者が話し合う時間を作り改善を図った、など</p>
<p>設問 14</p>	<p>実務実習の評価においては日報および SBOs 達成度、実習報告会 (成果発表会) が主な評価指標となるかと思われませんが、その運用方法についてお伺いします。</p> <p>14-A-1) 貴学において、日報および SBO の達成度はどのような手段で管理されていたかご回答下さい。実習施設により異なる場合は、該当するものを全て選択して下さい。</p> <p>【実習日誌】</p> <p><input type="checkbox"/> 実習ノート (製本されたもの) <input type="checkbox"/> 実習ノート (バインダータイプ) <input type="checkbox"/> 管理用 WEB システム <input type="checkbox"/> 管理用 WEB 以外の電子媒体 <input type="checkbox"/> その他</p> <p>【SBOs 達成度】</p> <p><input type="checkbox"/> 実習ノート (製本されたもの) <input type="checkbox"/> 実習ノート (バインダータイプ) <input type="checkbox"/> 管理用 WEB システム <input type="checkbox"/> 管理用 WEB 以外の電子媒体 <input type="checkbox"/> その他</p> <p>14-A-2) また、それぞれについて便利であった点、不便であった点があればご回答下さい。</p>